

元気な

ひと

なかま

☺お茶との付き合い

祖父母と同じ家で育ったので子どもの頃から毎日お茶を飲んでいました。成人してから「煎茶道」に出会って、正しい方法で入れると、お茶ってこんなに美味しいものなんだと感じた驚きが私の原点です。

煎茶道は急須を用いて煎茶や玉露を楽しむ作法です。それ以外のお茶のことも深く広く知りたと思って、日本茶インストラクターの資格を平成16年に取得しました。久しぶりの受験勉強は、さまざまなお茶の知識が新鮮に感じられて実に楽しいものでした。

☺おいしく楽しく飲んでほしい

日本茶インストラクターとして、植木まつりでの呈茶や、小学校での「お茶のおはなし会」、市役所庁舎でのお茶の振る舞いなど幅広く活動しています。

家族が集まる中心となる部屋

たとえば、今はリビングですが、昔は「お茶の間」でした。そこで家族がお茶を飲みながら、その日の出来事などを語り合っていたわけです。お茶をおいしく入れて家族と楽しむ時間を持つと心が豊かになると思います。

お茶の消費が減っていると言われていますが、あらためて皆さんにお茶の良さを知っていただき、おいしく、楽しく飲んでほしい。そう思って活動しています。味に深みのある鈴鹿のお茶を、多くの方に楽しんでいただきたいと思います。



野島きよみさん
(日本茶インストラクター)



関え! モータースポーツの鈴鹿人

小島庸平選手は鈴鹿市出身・在住の28歳。世界選手権に挑戦した経験を持つモトクロスのプロライダーで、今年もスズキ直属のチーム「Team SUZUKI」から全日本モトクロス選手権・国際A級1クラスに参戦します。

土の上をオートバイで走り抜けるモトクロスは見た目以上に全身の筋肉を使う非常にハードな競技。シーズンオフには海外に遠征し、世界レベルのライダーとトレーニングを積むことによって自分を高ぶらせています。『今年の目標は最低でもチャンピオンを獲ることです』と力強く語る小島選手は今年のバイクとも良い相性を感じ

ており、仕上がりは上々。4月に九州から始まる全日本モトクロス選手権で鈴鹿市初の全日本王者獲得を狙いにいきます。

いつも真剣勝負の小島選手が走る姿は一度見ればファンになってしまうこと間違いなし。小島選手も『市民の皆さんにもぜひ会場に見に来てほしいです』と皆さんの応援を待ち望んでいます!



小島庸平選手
(モトクロスライダー/
全日本モトクロス選手権)

■語り手 辻野ヒロシ

(鈴鹿サーキット実況アナウンサー・鈴鹿モータースポーツ友の会副理事長)

広報すずか 2013年4月5日号

キーボード

1月に風邪をひいて症状が長引きました。喉が痛くて声が出ず、夜になると咳が止まりません。病院でアレルギー検査を受けたところ、花粉もダニもペットも「シロ」の判定が出たので、しばらく飲んでいた薬を止めて現在に至っています。不調の原因は分かりませんでしたが、それをきっかけに、花粉や黄砂など大気の状態に関心をもつようになりました。最近では、微小粒子物質PM2.5が注目されています。

中国からの流入がもたら話題になっていますが国内でも排ガスなどから発生しているそうです。市内では算所と白子の2カ所で測定していて、基準を超えたときにはホームページやメルモニでお知らせします。マスクやうがいなど、PM2.5に対しても花粉や黄砂と同じ対策が効果的だそうです。花粉症の方はいつもより症状が強くなるかもしれないとのこと。ご注意ください。(保)



鈴鹿市携帯サイト
「元気モバイル」

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表) 🌐 <http://www.city.suzuka.lg.jp/>
■編集/企画財務部秘書広報課 ☎059-382-9036 ☎059-382-9040 📧 hishokoho@city.suzuka.lg.jp
■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 第2八野ワークセンター印刷係 ☎059-375-4381 ☎059-340-8810



古紙配合率100%再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。